

大阪フロイデニュース

Freude

vol.12-31 2019.7.21.Sun

千秋ト S70 だじ〜
あと A7 かははろー

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

おとろひ共演の音楽家のごようかい〜♡

清水徹太郎 SHIMIZU Tetsutaro (テノール)

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚音楽コンクール第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞をはじめ、平成29年度坂井時忠音楽賞、平成30年度兵庫県芸術賞奨励賞他多数受賞。

宗教曲で多数ソリストを務める他、オペラ公演でも多数主演・出演。びわ湖ホール四大テノールメンバーとして、全国各地の会場やテレビ・ラジオに出演。ソロでもNHK-FM「リサイタル・パッショ」に出演、高評を得る。

日本演奏連盟所属。兵庫県音楽活動推進会議委員。京都市立堀川音楽高校、京都市立芸術大学、大阪音楽大学、京都女子大学各講師。音楽事務所パルテンツァ所属。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。元神戸市混声合唱団団員。

大阪チェンバーオーケストラ OSAKA CHAMBER ORCHESTRA

1976年「アルフィーネ室内合奏団」としてスタートし、10年間の活動後、名称を「大阪チェンバーオーケストラ」に変更。島之内教会でスタートした月例チャペルコンサートその後、天満教会に拠点を移し、現在428回を数える。2016年11月に400回記念チャペルコンサートを開催。

2017年4月には「関西室内楽協会創立40周年記念演奏会」をいづみホールにて開催、好評を博す。

関西室内楽協会の演奏家が、室内楽やバロックアンサンブルで切磋琢磨した経験を生かした演奏は、レベルの高さで定評がある。内外数多くの著名な演奏家と共演もしている。また、京都バッハ合唱団と共にバッハの「教会暦によるカンタータシリーズ」に取り組み、バッハアカデミー関西として2002年ライブツヒバッハフェスティバルに招聘された折の演奏は高く評価された。

1989年、大阪市「咲くやこの花賞」受賞。



7/24(水)
18:30~
中野区尾久
(七尾筋本町)
③と0

7/31(水)
18:30~
天王寺区尾久
(四天王寺前)
外野

8/4(日)
13:15~
阿倍野区尾久
(天王寺)

8/5(月)
おやみホール
18:00集合
阿倍野区尾久

地図は7/30号

次の曲の仲間も集めよう！ ホームページの「ボイス」にこんなふうに乗せてますよ！

〜〜（ひとしきり、プッチーニの演奏会のことを書いたあと）〜〜

さてさて、本日は「次の曲」の話題。

モーツァルト「三位一体の祝日のミサ kv.167」 ハイドン「ネルソンミサ」の2曲です！

モーツァルトの kv.167 は 1773 年 6 月 5 日「三位一体の祝日」のために作曲されたミサ曲。

モーツァルト 17 歳です。

この曲の特長はなんといっても、「モーツァルトのミサ曲の中で、唯一、独唱ナシの作品」

ちなみにザルツブルク大司教に（宿敵！？）コロレドが就任したのは、前年 1772 年。

このコロレドさん、音楽への理解がなく、演奏時間も短く短く、とうるさいのなんの！

モーツァルトは教会で演奏されるミサ曲を多数作曲し、それぞれで「演奏時間を短く&しかし音楽は最高に！」を工夫しているのですが、このミサでは「独唱をやめる」ことで、対策したのかも^^；

でもでも、モチロンそこはモーツァルト！

独唱の無いぶん（？）合唱が縦横無尽に駆け巡り、オーケストラの華麗さを十分にそなえて、モーツァルト魅力満載の作品ですよ！

ハイドン「ネルソンミサ」は 1798 年、ハイドン 66 歳の作品。

合唱好きなら一度は名前を聞いたことがあるのでは？

ちなみにこの曲、副題で「困苦の時のミサ」とも言うのです。そのココロは？

実はこの曲、もともと、オーケストラの編成が非常に小さくて、特に木管楽器が殆ど無いのですが、その理由は、

ハイドンのパトロンだったニコラウス・エステルハージは当時、政治的にも経済的にも不安定な状況にあったため（オーストリアはナポレオンにすっかりやっつけられていたし、、、）

「ネルソン・ミサ」の完成の直前に、楽団の管楽器セクションを解雇してしまっていたそう。

そのためハイドンは、弦楽器、トランペット、ティンパニ、オルガンのみから成る楽団で演奏せざるを得なかった、、、だそうです。

その後、後代の人が木管楽器パートを創作して付け加えた、フル編成での演奏もされるようになりましたが、近年の演奏では「（木管楽器を欠いた）原点版の編成が再び受け入れられるようになっている。」ですって。「困苦の時のミサ」という副題は、このシンドイ状況を言ったとか！？

というわけで、ヒイヒイ言いながら作曲していたハイドン、

そんなとき「ネルソン提督がナイル海戦でフランス軍を撃退したぞ〜」という、

オーストリアの人々にとっての朗報が！

喜んだハイドンは、ベネディクトゥスの中にファンファーレを入れたんですって！

というわけで、いろいろエピソードもおもしろそうな、この 2 曲。

うたう仲間、大募集中ですよ！

練習は 8 月 21 日から。練習の見学も可能です！

お気軽にお問合わせくださいね！

そしてモチロン！ 8 月 7 日、プッチーニをステキに演奏しますよ〜 がんばりますっ(＾O＾)／